

スウェーデン成人教育の歴史と構造

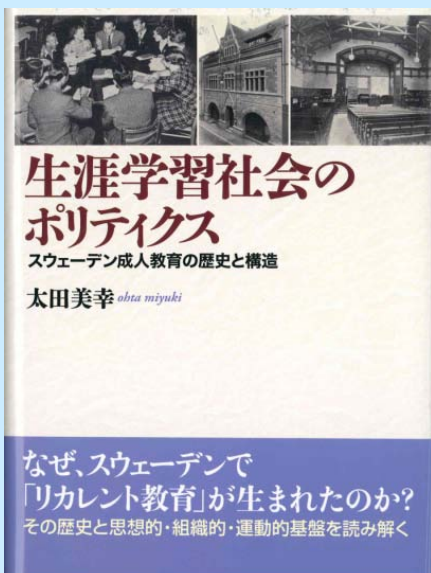
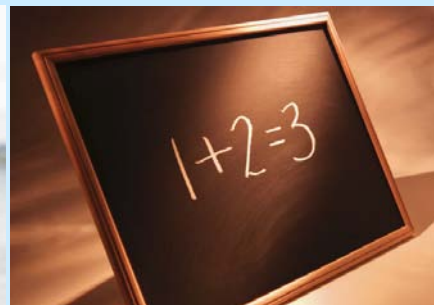
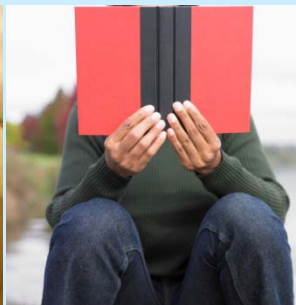
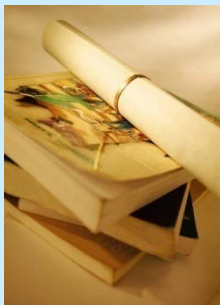
— 「リカレント教育」はどのように生まれたのか

日時：2011年5月30日（月）18：30～20：30

場所：池袋キャンパス 太刀川記念館多目的ホール

講師：太田美幸氏（立教大学文学部准教授）

1970年代半ばにOECDが提唱した「リカレント教育」は、教育を子ども・青年期に集中させることに代えて、労働や余暇の期間を挟みながら生涯にわたって繰り返すことで、成人の学習権保障と不平等縮減を意図するものであった。スウェーデンはそれを制度として実現させた数少ない例として知られ、「学習社会」として国際社会から注目を集めている。なぜスウェーデンでそれが可能となったのか、成人教育の歴史をたどりながら解説する。



講師プロフィール

立教大学文学部准教授。

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（社会学）。

単著『生涯学習社会のポリティクス』（新評論、2011：2010年度立教大学出版助成採択）

共編著『ヨーロッパ近代教育の葛藤』（東信堂、2009年）

訳書にコルピ著『政治のなかの保育』（かもがわ出版、2010年）

【問合せ先】

立教大学社会福祉研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

Tel：03-3985-2663 Fax：03-3985-0279

e-mail：r-fukushi@grp.rikkyo.ne.jp

URL：http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ISW/index.html

**入場無料
申込不要**